

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成
-----	----------------------

施策主管課	地域政策室	総合計画記載頁	149ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	21 機能的で魅力ある都市空間を形成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市内の地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています
------	----------------------------------	----------------	----------------------	---------------------	--

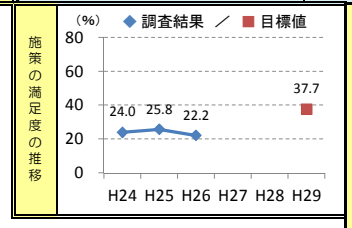
2 施策の取組状況

施策目標	地域特性に応じた都市機能が集積され魅力ある拠点が形成されます
------	--------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	人口集中地区(DID)人口	単年度目標値	384,583	384,583	384,583	392,000	392,000	392,000		-	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	24.0%	25.8%	22.2%				
実績値			384,583人	-	-	-															
目標値(H29)			392,000人	-	-	-							目標値(H29)	37.7%	前年度からの増減		1.8%	-3.6%			
指標2	都市拠点(市内中心部)の通行量(平日)	単年度目標値	105,000	106,000	107,000	108,000	109,000	110,000	-	【参考】中核市等との水準比較	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
		実績値	103,880	-	99,428	-															
		目標値(H29)	110,000人	-	93.80%	-															
指標3	人口集中地区(DID)人口密度	単年度目標値								【参考】中核市等との水準比較	中核市平均	H24	6115.4	6214.4	6261.8						
		実績値											実績値	5414.4	5414.4	5414.4					
		単年度目標値												中核市での本市の順位	25位/41市中	25位/41市中	26位/41市中				
指標4	人口集中地区(DID)人口密度	単年度目標値								【参考】中核市等との水準比較	中核市平均										
		実績値																			
		単年度目標値																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		
	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]		
	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]		

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	国においては、コンパクトなまちづくりの実現に向け、都市機能誘導区域等における施設立地の支援や地域公共交通ネットワークの支援等に取り組んでいる。		市民満足度	・空き店舗への出店促進の支援や商工会議所等の商店街等でのイベント開催を支援するなど、商業の活性化に向けた戦略的な取組み等が実施されているものの、市民満足度は同水準の結果となっている。	総合評価	75点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 本市のDID地区人口に係る数値については、国勢調査結果を用いており、次回の実績値の把握は平成27年度の予定である。 都市拠点の通行量の数値については、商店街通行量・来街者実態調査の結果を用いており、本調査は2年毎の調査であるため、次回の実績値の把握は平成27年度の予定である。 					概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	中心市街地活性化の推進	○★		市民、来街者	・「第1期中心市街地活性化基本計画」に基づく各事業の推進 ・「第2期中心市街地活性化基本計画」の策定	計画どおり	6,470	H21		ネットワーク型コンパクトシティの中核として、本市全体の発展を牽引する都市拠点の形成、及び「本市の顔」にふさわしい活力と魅力ある中心市街地の形成を図る。次年度は、平成27年3月に策定した第2期中心市街地活性化基本計画に掲げた目標の達成に向け、庁内関係課や民間事業者等との適切な役割分担と連携のもと、各種施策事業を効率的・効果的に実施するとともに、計画に計上した現在検討段階である民間主体の各種取組について、計画期間内の着実な事業化が図れるよう、民間事業者に対する誘導・支援に取り組む。
2	中心市街地西地区まちづくり推進事業		東武宇都宮駅周辺地区整備の推進	市民、来訪者	中心市街地西地区まちづくりの推進	計画どおり	6,048	H26		ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成に向け、センターコアの西側に位置する中心市街地西地区において、低・未利用地の活用による都市機能の更新や交通結節機能の強化等を図る。次年度は、平成26年度に実施した基礎調査を踏まえた上で、地区整備のあり方について検討を進めていく。
3	宇都宮駅東口地区整備事業	○★	宇都宮駅東口地区整備の推進	市民、来訪者	立地施設の整備・促進	計画どおり	6,138	H16		都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。次年度は、LRT整備事業などの関連事業等との整合を図りながら、まちづくりの基本的な考え方や導入すべき機能など本地区の整備方針を策定するとともに、事業者募集等の事業化を推進する。
4	雀宮駅東地区整備の推進		雀宮駅周辺地区整備の推進	関係権利者及び市民	道路整備(市道713号線)	計画どおり	253,514	H18		市南部地域の地域交流拠点として、都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。次年度は、市道713号線の平成27年度内完成を目指す。
5	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	○★	宇都宮駅西口周辺地区整備の推進	市民及び権利者等	地元のまちづくり活動支援等	計画どおり	8,781	H19		都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。次年度は、基本計画策定に向けた地区整備方針や土地利用方針について検討するとともに、地元まちづくり活動の継続的な支援を行うなど、引き続き地区整備の推進に取り組む。
6	市街地再開発事業の推進	○★	市街地再開発事業の推進	市民及び権利者等	再開発準備組合へのコンサルタント派遣	計画どおり	4,839	S57	トップ クラス	魅力ある都市拠点の形成に向け、中心市街地における居住環境の創出や、商業・業務などの高次な都市機能の集積を図る。次年度は、早期の事業化が図れるよう、引き続き、地元組織の支援・指導を行う。
7	大手地区市街地再開発事業	○★	市街地再開発事業の推進	宇都宮大手地区市街地再開発組合	補助金支出 技術的援助	計画どおり	37,800	H25		魅力ある都市拠点の形成に向け、中心市街地における安全・安心で快適な市街地の形成や都心居住を推進する。次年度は、工事着工に向け、権利変換計画の作成や、円滑な建物等の移転など、確実に事業を推進できるような組合を支援・指導していく。
8	岡本駅周辺整備事業	○	岡本駅周辺地域整備の推進	岡本駅周辺、北東部地域住民	岡本駅東西自由通路・橋上駅舎や駅前広場等の整備の推進	計画どおり	5,892	H21		北東部の地域拠点を形成するため、交通結節機能の充実や駅前景観の創出などを図る。次年度は、岡本西土地区画整理事業と連携するとともに、JR東日本など関係機関との協議・調整を綿密に行うことにより、効率的・効果的に事業を推進し、岡本駅の東西自由通路や橋上駅舎、駅前広場などの整備を進める。
9	宇都宮まちづくり推進機構補助金			宇都宮まちづくり推進機構	中心市街地活性化に向けた事業の実施・調整	計画どおり	17,549	H11		中心市街地のまちづくりに取り組む中核的な組織であるまちづくり推進機構を支援することにより、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成に資する事業を実施する。次年度は、引き続き、旧公益質屋(大谷石蔵)活用事業やイルミネーション事業、釜川プロムナード整備事業等の継続的な事業の実施やNPO法人のメイトを活かした自立的・安定的な経営基盤の確立に向けた新たな収益事業等の検討、第2期中心市街地活性化基本計画に計上した新規事業の検討・実施などについて支援していく。
10	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金		テクノポリスセンター地区の施設立地の促進	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会	イベント等におけるPR活動等の販売促進活動	計画どおり	200	H6		ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、テクノポリスセンター地区については、地域の生活を支える多様な都市機能や先端・高度技術産業、研究開発型企業等が集積した東部地域の拠点としてのまちづくりを推進する。次年度は、本地区の住宅用地について、ほぼ処分されたことから、産業系用地への施設立地促進に向け、企業等を対象としたイベントの出展や企業訪問等による販売促進活動に取り組む。
11	ネットワーク型コンパクトシティ形成の推進(再掲)	○	市民、事業者等	長期的視点でのまちづくりの方向性を示す「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」の作成と市民理解の促進	・有識者会議開催による意見聴取 ・「ビジョン」の作成 ・「まちづくりシンポジウム」の開催	計画どおり	9,450	H20	独自性	平成26年度は、将来の都市構想イメージや都市形成の考え方等について平成25年度に整理した「ビジョン中間取りまとめ」を基に、学識経験者等からの支援を受けながら、実現に向けた具体的な施策事業や推進方針などをとりまとめ、「ビジョン」を完成させた。次年度は、引き続き、市民・事業者に向けて周知啓発や意見交換等を実施し、「ネットワーク型コンパクトシティ」に対する市民理解を深めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆地域特性を生かした魅力ある拠点の形成にあたっては、それぞれの拠点に集積する都市機能や土地利用等、具体的な推進方策を明確にするとともに、各地域の社会的特性等を踏まえ、関係者が連携・協力しながら取り組んでいく必要がある。</p> <p>◆拠点形成に向けた事業の推進にあたっては、関係機関とのさらなる連携や、関係権利者の合意形成等を図るとともに、市税収入の急速な回復が見込めないなど、各事業の財源確保が厳しくなることを踏まえ、効果的・戦略的に取り組んでいく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆まちづくりの方向性を示す「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を踏まえ、「立地適正化計画」などを策定するとともに、市民・事業者・行政が連携を図りながら魅力ある拠点の形成に向けた施策・事業に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆中心市街地活性化の推進 第2期中心市街地活性化基本計画に掲げた目標の達成に向け、庁内関係課や民間事業者等との適切な役割分担と連携のもと、各種施策事業を効率的・効果的に実施するとともに、計画に計上した現在検討段階である民間主体の各種取組について、計画期間内の着実な事業化が図れるよう、適切な誘導・支援に取り組む。</p> <p>◆JR宇都宮駅周辺地区整備の推進： 社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、LRTなど関連事業との整合を図りながら、事業化を推進し、都市拠点の形成を図る。</p> <p>◆市街地再開発事業の推進： 今後の社会経済情勢を踏まえた事業計画の検討や、確実な工事着工に向け、地元組織に対して適切な支援・指導を行う。</p> <p>形成を図る。</p> <p>◆岡本駅周辺整備事業： 岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上、良好な駅前景観の創出などを図り、北東部地域の地域拠点の形成を進める。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>